

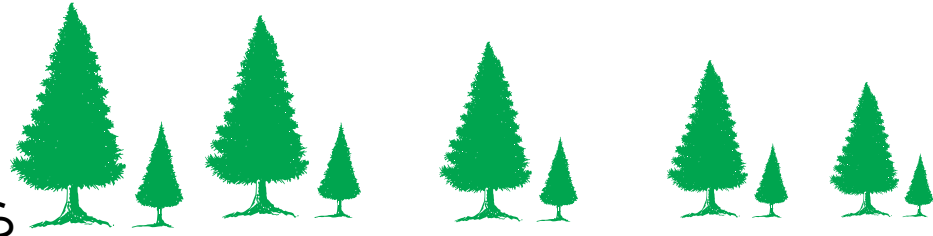


名護城公園
ニュースレター
2018年12月号

なんぐすく

名護城公園物語

園内を散策しながら
探して下さい



ハポヤシ広場だよ

名護城公園に育つ植物達はやんばるを代表する自生植物が多いが、ちょっと変わった植物達が育ち、熱帯的空間を醸す場所があります。少数派だが大好きという人もいます。ナツメヤシの林立することから「ハポヤシ広場」と呼ばれています。



ナツメヤシ

見上げてナツメヤシの葉が生い茂る様を見たら アラビアのオアシスにいる気分になるな。



ピロウ(クバ)

葉で毎年扇(あし)を作っていた。そのため、一家に体植えられていた。

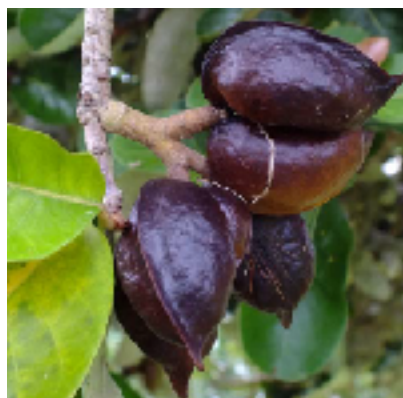


サキシマスオウ片



パン片

パン片とい名前は多くの人が「パン」が食べられると思っているが、パンとは「食料」の意味とのこと。実が年中とぎれなく実り食料に困らないことから付けられた。



サキシマスオウ片が成長している。目安は地際の板根が大きくなり実のつき具合もよくなっているからだ。変わった実を拾うのが楽しい。

12月のイベント案内

名護城公園文化講座

「沖縄の紅茶の話」

日時：12月16日(日)9:30~11:00

場所：名護城公園 学習室

参加対象：大人 定員：30人(事前申し込み)

参加料：500円(資料、保険料込み)

講師：後藤健志(沖縄県農業研究センター名護支所)



紅茶栽培最新情報の講座

香り味の違う紅茶のテイステイングもあります。

参加申し込みは名護城公園管理事務所 0980-52-7434

名護城公園ニュースレター なんぐすく 2018年12月号



発行：名護城公園管理事務所
〒905-0012 沖縄県名護市名護 5511
TEL0980-52-7434 FAX0980-52-7477
<https://www.okinawa-park.jp>